

| | | | |
|---|-----------------|--|---------|
| 該当学年 | 授 業 科 目 名 | 担 当 教 員 | |
| 2部 1・2・3年 | 幼児と音楽表現 I | 小松 洋子 他 | |
| サブタイトル | ピアノ演奏技術、音楽表現の基礎 | 単 位 数 | 6※ |
| 授業形態 | 演習 | ※1年次～3年次 合計で6単位 | |
| 開講時期 | 3年通年 | 出席要件 | 4 / 5以上 |
| 到 達 目 標 | | | |
| <p>①保育者に求められるピアノの演奏技術、音楽表現の基礎を習得する。</p> <p>②読譜に必要な音楽理論を学習し、子どもの音楽表現活動に関わる教材等を適切に活用できる。</p> <p>③ 伴奏の基本となる「主要3和音」を理解し、子どもの歌を通して実践できる。</p> <p>④ 表現する楽しさを実感し、幼児に伝える表現豊かなピアノ演奏ができる。</p> <p>⑤ 他者の表現を受け止め共感し、自ら学修した演奏法や音楽感覚を再確認し、より豊かな表現につなげていくことができる。</p> | | | |
| ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連 | | | |
| <p>本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。」ことを目指す科目である。基礎的なピアノ演奏技術を習得し、保育現場における子どもたちの音楽表現活動を支えることができる実践的な技能や音楽的感性を高めることを目指す。</p> <p>また、授業の中で共に歌い、弾き、聴き、教え合う学習を通して「③豊かな人間性を身につけている。」ことも目指す。</p> | | | |
| 授 業 の 方 法 | | | |
| <p>① 1クラスを8名前後の小グループに分け、それぞれ個人レッスンしながらグループで学習する。</p> <p>②事前に練習してきた課題曲や子どもの歌、伴奏付けのレッスンを受ける。</p> <p>③他の学生のレッスンを聴講して参考になる事をレッスン・ノートに書き留める。</p> <p>④授業でアドバイスされたことを、楽譜もしくはレッスン・ノートに必ず書きとめ、次の授業に活かす。また、次週の練習計画もレッスン・ノートに立てる。</p> | | | |
| テキスト・教材・参考図書 | | | |
| <p>テキスト：『バイエル』 音楽 I 研究室編 聖徳大学出版会 2017 年 『子どもと歌おう！〈新版〉幼児とともに』 音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年 『子どもと遊ぼう！ピアノ・レパートリー』 音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年</p> <p>教 材：「伴奏付け」課題「初見視奏」課題</p> | | | |
| 評 価 の 要 点 | | 総 合 評 価 割 合 | |
| <p>1. 曲に必要なとされる演奏表現ができているか否か。</p> <p>2. ピアノ・レパートリー、幼児とともに、伴奏付け等の必修副課題を終了しているか否か。</p> <p>3. 日々の練習にレッスン・ノートを活用しているか否か。</p> <p>4. 3年次後期に単位認定試験を実施する。</p> | | <p>実技試験 100%</p> <p>各学期の演奏発表を含む全ての実技で評価する。</p> | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言など | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分な練習をしてレッスンに臨むこと。 ・試験時はフォーマルスーツまたはそれに準ずる服装（白襟付き上衣、黒か紺の下衣）を着用。 ・シラバスの進度を常に認識し、必要な練習計画を立てること。 ・授業回数（3年通年）の5分の4以上出席しないと失格となり、1年間の再履修となる。 ・音楽教室講師としての長きにわたる勤務経験を活かし、実践的で分かりやすい授業を展開します | | | |

科目名 幼児と音楽表現 I (2部1年前期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|-----------------------------------|
| 1回 | 【ガイダンス】 授業の目的、内容、予習復習、試験等について理解する。 | 授業概要の把握 練習計画 |
| 2回 | 姿勢、手指の形、打鍵、読譜（拍子、音の長さ、ト音記号、 へ音記号の音等） バイエルNo.1～4 | フォーム 打鍵法 拍子と拍節 音価の理解 |
| 3回 | 〈ポジション1〉5指内の音階練習 No.5～7 写譜「おはようのうた」 | フォーム 打鍵法 拍子と拍節 ポジションの理解 |
| 4回 | 右手旋律（左手伴奏） フレーズ No.8～10 写譜「おべんとう」 | フレーズ感 レガート奏 |
| 5回 | 左手伴奏（和音奏） 並進行と反進行 No.11～13 写譜「さよならのうた」 | フレーズ感 並進行と反進行の理解 |
| 6回 | 左手伴奏（分散奏） No.14～16 幼児とともに(1曲目「大きな栗の木の下で」) | 対位的動き 2つのメロディーを聴き 分ける力 |
| 7回 | 〈ポジション2〉新しいポジション ユニゾン No.17～19 幼児とともに | 新しいポジションの理解 タイとスラーの違い |
| 8回 | 左右のメロディー No.20～22 併用曲(1曲目) | ユニゾン奏 左右のメロディーを聴く 力 |
| 9回 | 短調 ユニゾン No.23～25 併用曲 | 短調の響きを感じる |
| 10回 | オクターブ記号 全音符～8分音符 No.26～27 幼児とともに(2曲目「おはようのうた」) | オクターブ記号 8分音符の理解 |
| 11回 | 〈伴奏付け・主要3和音の理解〉 伴奏付け課題ハ長調 幼児とともに | 主要3和音の理解 |
| 12回 | 付点音符 No.28～29 | 付点音符の理解 |
| 13回 | 6/8拍子 強弱記号 メロディーと伴奏のバランス No.30～31 幼児とともに の仕上げ | 6/8拍子の理解 強弱 左右の音量バランス フレーズ感 |
| 14回 | 〈幼児とともに 演習〉【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面・音楽面から総合的に復習する。 | 緊張感 演奏時の集中力 |
| 15回 | 【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 夏休み中の練習計画 | 緊張感 演奏時の集中力 |
| 試験 | 評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 3年間の通年科目のため、単位認定試験は3年次後期に実施する。 | |

科 目 名 幼児と音楽表現 I (2部1年後期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 1回 | 【後期ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 | 前期で学んだことの確認 練習計画 |
| 2回 | 3/8拍子 強弱記号 対位法的楽曲 No.32~33 幼児とともに(3曲目「さよならのうた」) | 多様な表現 転調 左右の音量バランス 3/8拍子の理解 |
| 3回 | 音域の拡大 フレーズ感 No.34~35 幼児とともに | 広い音域への対応 ユニゾン奏 フレーズ感 |
| 4回 | 音と表現① 併用曲 半音「宇宙ゆうえい」 同音のレガート No.36~ ハ長調の音階 | イメージを膨らませる ハ長調音階奏 調性の意識 |
| 5回 | 旋律を歌わせる練習 No.37~ト長調の音階 幼児とともに | フレーズ感 レガート奏 ト長調音階奏 |
| 6回 | 3度の重音奏 No.38~39 伴奏付け課題ト長調 | 3度の重音奏 レガート重音奏 指の独立 |
| 7回 | 音と表現② 併用曲 全音「ミステリー・ミュージック」 右手重音奏 ニ長調の音階~No.40 | 場面を想定して演奏する 右手重音奏 指の独立 |
| 8回 | 左右の掛け合い No.41 幼児とともに(4曲目を選択) | レガート奏 左右の掛け合い |
| 9回 | 保持音 曲想の違い No.42 幼児とともに | 保持音 曲想の違いを感じ取る力 |
| 10回 | 音と表現③ グリッサンド奏とクラスター奏 音階をなめらかに弾く イ長調の音階 幼児とともに(5曲目) | 音域の違いによるイメージを感じる イ長調音階奏 なめらかな指くぐり |
| 11回 | 左右の掛け合い No.43 幼児とともに | 左右の掛け合い 抑揚感 メロディーを歌わせる |
| 12回 | 3拍子 装飾音符 腕の交差 同音指替え No.44 幼児とともに | 装飾音 同音の指替え 左手伴奏レグジェーロ奏 |
| 13回 | 〈幼児とともに 演習〉レグジェーロの表現 No.44 | 表現力 |
| 14回 | 【後期のまとめ①】 技術面、音楽面から総合的に復習する。 | 緊張感 演奏時の集中力 |
| 15回 | 【後期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 春休み中の練習計画 | 緊張感 演奏時の集中力 |
| 試験 | 評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 3年間の通年科目のため、単位認定試験は3年次後期に実施する。 | |

科目名 幼児と音楽表現 I (2部2年前期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|---------------------------|
| 1回 | 【ガイダンス】 2年次授業の概要 1年次で学んだ基礎を再確認し、今後の計画を立てる。 毎日練習することの重要性を再確認する。 | 授業概要の把握 練習計画 |
| 2回 | 同音指替え 弱起 左手伴奏レッジャーロ No.45 幼児とともに(6曲目) | 同音の指替え 弱起 左手伴奏レッジャーロ奏 |
| 3回 | 臨時記号 半音階 No.46 幼児とともに 併用曲(4曲目) | 臨時記号 半音階奏 |
| 4回 | 左右の掛け合い No.47 幼児とともに 併用曲 | 左右の掛け合い レガート奏 |
| 5回 | 右手旋律を歌わせる練習 ホ長調の音階～No.48 幼児とともに(7曲目) | ホ長調音階奏 転調による曲想の変化を感じる力 |
| 6回 | 全音符～16分音符 No.49 幼児とともに | 各種音価の理解 |
| 7回 | 16分音符 No.50 幼児とともに 併用曲(5曲目) | 16分音符の早い動き |
| 8回 | 3連符 同音の指替え No.51 幼児とともに 併用曲 | 3連符の理解 |
| 9回 | 付点8分音符 保持音 No.52 幼児とともに(8曲目) | 付点リズムの表現 |
| 10回 | 〈マーチの演習〉付点のリズム 付点8分音符 マーチ 幼児とともに | マーチらしさの理解 付点リズムの表現 |
| 11回 | 重音のメロディー 同音の指替え No.53 幼児とともに | 重音のメロディー表現 同音の指替え |
| 12回 | イ短調旋律短音階 転調 イ短調の音階～No.54 幼児とともに | 3種類の短音階奏 |
| 13回 | 〈幼児とともに 演習〉6/8拍子 抑揚感 No.55 | 抑揚感 音楽表現力 |
| 14回 | 【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面、音楽面から総合的に復習する。 課題曲の総仕上げ | 音楽表現力 演奏時の集中力 |
| 15回 | 【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 夏休み中の練習計画 | 現場での演奏 演奏時の集中力 |
| 試験 | 評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 3年間の通年科目のため、単位認定試験は3年次後期に実施する。 | |

科目名 幼児と音楽表現 I (2部2年後期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|-------------------------------|
| 1回 | 【後期ガイダンス】 前期の復習 後期の練習計画 マーチテストの概要 実習課題曲 | 授業概要の把握 練習計画 実習課題曲の準備 |
| 2回 | へ長調音階 シンコペーション No.56～へ長調の音階 マーチ 実習課題曲 | へ長調音階奏 シンコペーションのリ ズムの理解 |
| 3回 | 左右のメロディー掛け合い No.57 マーチ 伴奏付け課題へ長調 実習課題曲 | 左右の掛け合い |
| 4回 | 6度重音奏 No.58 マーチ 実習課題曲 | 6度重音奏 |
| 5回 | 3度重音奏 保持音 レガートとスタッカート No.59 マーチ 実習課題曲 | 指の独立 軽快なテンポ感 |
| 6回 | 付点音符 弱起 軽快なテンポ No.60 幼児とともに (9曲目) マーチの演習 | 付点リズムの理解 スタッカートの軽快さ |
| 7回 | 複前打音 変ロ長調音階 No.61 併用曲 幼児とともに マーチ | 緩やかな装飾音符 変ロ長調音階奏 |
| 8回 | 短前打音 腕の交差 ポジション移動 No.62 幼児とともに (10曲目) マーチ | 短前打音 左右の交差 ポジション移動 |
| 9回 | 左右の速い音符 No.63 幼児とともに マーチ | 左右の速い音階 |
| 10回 | 複付点音符 保持音 No.64 幼児とともに (11曲目) マーチ | 左右の速い音階 複付点音符の理解 |
| 11回 | フレーズ 付点音符 No.65 幼児とともに | メロディーの抑揚 転調 2オクターブの音階奏 |
| 12回 | 2種類の指使いによる半音階 幼児とともに マーチの暗譜仕上げ | 暗譜力 半音階奏 |
| 13回 | 〈マーチの演習〉 〈幼児とともにの演習〉 狭い幅の順次進行 No.66 | 指の独立 半音階奏 |
| 14回 | 【後期のまとめ①】 後期の学習を技術面・音楽面から総合的に復習する。 課題曲の総仕上げをする。 | 音楽表現力 演奏時の集 中力 |
| 15回 | 【後期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 | 音楽表現力 演奏時の集 中力 |
| 試験 | 評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 3年間の通年科目のため、単位認定試験は3年次後期に実施する。 | |

科目名 幼児と音楽表現 I (2部3年前期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|--------------------------------|
| 1回 | 【ガイダンス】 3年次授業の概要 今後の計画を立てる。 毎日練習することの重要性を再確認する。 | 授業概要の把握 練習計画 |
| 2回 | グループ1の1曲目①譜読み 幼児とともに(12曲目)伴奏付け課題 移調 | 読譜力 初見力 拍子感 拍節感 |
| 3回 | グループ1の1曲目② 幼児とともに | 曲に求められる表現力 |
| 4回 | グループ1の1曲目③通奏 幼児とともに(13曲目)マーチ | 曲に求められる表現力 |
| 5回 | グループ1の1曲目④人前で止まらず弾けるようにする。 幼児とともに マーチ | 曲に求められる表現力 |
| 6回 | <マーチの演習> 付点のリズムの理解 子どもの動きに即したテンポで弾く。 マーチ | 構成力 暗譜力 マーチらしさ 付点のリズムの理解 |
| 7回 | グループ1の1曲目⑤仕上げ 幼児とともに(14曲目) | 構成力 表現力 なめらかな演奏 |
| 8回 | グループ1の2曲目①譜読み 幼児とともに | 読譜力 拍節感 |
| 9回 | グループ1の2曲目② | 曲の表情 フレーズ感 |
| 10回 | グループ1の2曲目③通奏 マーチ | 曲に求められる表現力 |
| 11回 | <伴奏付けの演習> 子どもの発達に合わせ、歌の伴奏を移調したり、様々な伴奏形で弾けるようにする。 | 現場での実践力 移調する力 いろいろな伴奏形 |
| 12回 | グループ1の2曲目④ | 音楽表現力 演奏時の集中力 |
| 13回 | <幼児とともにの演習> 【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面・音楽面から総合的に復習する。 | 基本的な技術の確認 音楽感覚 |
| 14回 | 【前期のまとめ②】 グループ1の2曲目⑤仕上げ 完成度を上げる。 | 音楽表現力 演奏時の集中力 |
| 15回 | 【前期のまとめ③】 クラス全員の前で演奏発表する。後期課題について | 緊張感 音楽表現力 演奏時の集中力 |
| 試験 | 評価の要点に基づき実施する。演奏実技により学習成果を確認する。 3年間の通年科目のため、単位認定試験は3年次後期に実施する。 | |

科目名 幼児と音楽表現 I (2部3年後期)

| 授業回数別教育内容 | | 身につく資質・能力 |
|-----------|---|-----------------------------|
| 1回 | 【ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 | 前期までに学習した内容理解 後期の練習計画 |
| 2回 | グループ1の3曲目①譜読み 幼児とともに マーチ | 読譜力 拍節感 |
| 3回 | グループ1の3曲目②曲の構成をつかむ。 幼児とともに マーチ | 曲構成の理解 マーチの暗譜 |
| 4回 | グループ1の3曲目③曲の流れを感じる。 幼児とともに マーチの仕上げ | フレーズ感 ハーモニー感 マーチ暗譜 |
| 5回 | <マーチの演習> グループ1の3曲目④ 幼児とともに マーチ | 表情の付け方 音を聴く |
| 6回 | グループ1の3曲目⑤ 幼児とともに マーチ | 表情の付け方 |
| 7回 | グループ1の3曲目⑥ 幼児とともに マーチ | 表現力 構成力 演奏に必要な集中力 |
| 8回 | グループ1の3曲目⑦ マーチの仕上げ | 曲に求められる表現力 長い曲の演奏に必要な集中力 |
| 9回 | <マーチの演習> 修了課題曲演習①前半譜読み | 読譜力 初見力 拍節感 暗譜力 |
| 10回 | 修了課題曲演習②後半譜読み マーチ | 集中力 指使いの確認 拍子感 |
| 11回 | 修了課題曲演習③全体を通して弾く。 マーチ | 音楽表現力 構成力 |
| 12回 | 修了課題曲演習④全体を完成させる。 マーチ | 基礎技術 音楽感覚 |
| 13回 | 修了課題曲演習⑤完成度を高める。 マーチの仕上げ | 技術面、感覚面の総復習 |
| 14回 | 修了課題曲演習⑥ これまで学習した知識・技術を総合して音楽感覚を深める。 | 音楽表現力 演奏時の集中力 |
| 15回 | 修了課題曲演習⑦ 修了試験に向けての総仕上げ | 現場での演奏力 演奏時の集中力 |
| 試験 | 単位認定試験を評価の要点に基づき実施する。 | |